※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１２

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	現代の歴史総合　みる・読みとく・考える（山川出版社）						
副教材等	新詳歴史総合（浜島書店） 歴史総合　用語と解説（山川出版社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちが生きるこの世界、この時代はグローバル化が一層進み、色々なことが複雑に絡み合い、さまざまな問題を生み出しています。その問題の解決をはかるには、まず何が問題で、何故そのような問題が生じたのか歴史的に振り返ることで問題の原因や背景をさぐり、解決の手がかりをつかむことが大切です。過去、人類は直面した課題にどのように向き合ってきたのか、その時代時代の積み重ねにより現在に至っています。歴史を学ぶことは、これから生きていく社会で、みなさんが「課題を見つけ、自ら考え、解決していく力」を身につけることにつながります。

２　学習の到達目標

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	結びつく世界と日本の開国	・18 世紀の東アジアにおける社会と経済 ・貿易が結んだ世界と日本 ・産業革命 ・中国の開港と日本の開国	a:18 世紀におけるアジア各地と、ヨーロッパ諸国のアジア交易への進出を理解している。 b:アジア各地に成立した大帝国を比較し、その特徴を考察し、表現している。清と江戸幕府の政治・経済政策の特徴について考察し、表現している。 c:アジアの国々を結んでいたアジア域内貿易のあり方について追究しようとしている。 江戸時代の日本の対外貿易を、東アジアだけではなく世界的な観点から再構築しようとしている。	定期考査 ワークシート	レポート課題 定期考査 ワークシート	レポート課題 ワークシート
	国民国家と明治維新	・市民革命 ・国民国家とナショナリズム ・明治維新 ・日本の産業革命 ・帝国主義 ・変容する東アジアの国際秩序 ・日露戦争と東アジアの変動	a:アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解している。 b:資本主義に対抗する論理として社会主義が生み出された背景について、具体的な人物などをあげながら考察している。また、列強とよばれる国々が、世界の大半の地域を支配下におさめていく過程を年表にまとめ、整理し、考察している c:新政府の方針をとらえるとともに、諸藩がどのように対応したかを、新政府側、諸藩側の立場にたって探究しようとしている、とともに日露戦争を始め、東アジアの変動、周辺地域（朝鮮・満洲）の影響を多面的に追究しようとしている。	定期考査 ワークシート	レポート課題 定期考査 ワークシート	レポート課題 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

２学期	総力戦と社会運動	・第一次世界大戦の展開 ・ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・世界経済の変容と日本 ・アジアのナショナリズム ・大衆の政治参加 ・消費社会と大衆文化	a:第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化、および第一次世界大戦後のアメリカの情勢とアメリカ社会のあり方が、どのように大量消費社会に結びついていったのかを理解している。また、ナショナリズムと大衆の政治参加についても理解している。 b:図やグラフを使いながら、民衆のエネルギーがどのような動きとなったか、バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをもとに、バルカン諸国の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察している。 c:各地での民族運動の展開を比較しながら、その共通点と相違点について追究しようとしている。第一次世界大戦後のアジアにおける民族運動の展開が、今日の中東情勢に大きく関係していることを見出そうとしている。	定期考査 ワークシート	レポート課題 定期考査 ワークシート	レポート課題 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌の時代 ・ファシズムの伸長と共産主義 ・日中戦争への道 ・第二次世界大戦の展開 ・第二次世界大戦下の社会 ・国際連合と国際経済体制 ・占領と戦後改革 ・冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 ・日本の独立と日米安全保障条約	a:世界恐慌および日本の金融恐慌の発生の原因・過程・結果、影響を理解している。ドイツ、イタリアが世界恐慌の中でどのような政策を展開していく理解している。 b:世界恐慌に対して、各国の対応策を比較している。また、ソ連の計画経済にもとづく社会主義の政策が世界恐慌にどのように対応することができたかを考察し、表現している。さらに、二・二六事件、日中戦争、三国同盟にいたる日本の動向を表現し、この時期の、日本の国民生活の変化について考察している。 c:第二次世界大戦の終結にいたる世界の動向を時系列にその内容を追究しようとしている。また、第二次世界大戦の結果、日本および国際社会はどのように変化していくことになるかその嚆矢について追究しようとしている。	定期考査 ワークシート	レポート課題 定期考査 ワークシート	レポート課題 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	冷戦と世界経済	・冷戦下の地域紛争と脱植民地化 ・東西両陣営の動向と1960年代の社会 ・軍拡競争から緊張緩和へ ・地域連携の形成と展開 ・計画経済とその波及 ・日本の高度経済成長 ・アジアのなかの戦後日本	a:第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していこうとしているか、日本の独立回復のための、単独講和論と全面講和論のそれぞれの主張を理解し、国際社会へどのように復帰したか理解している。また、西側陣営、東側陣営によるそれぞれの国際秩序の構築について理解している。 b:1950 年代から冷戦終結までの東西両陣営の経済体制について考察している。また、日本国憲法の制定の過程を考察し、それが日本の経済、戦後日本にどのような影響を与えたかを考察している。 c:東西の対立、日本国内の労働運動の進展、地域経済の統合など多面的・多角的に考察し、戦後の国際経済および日本の社会体制のあり方を理解し、追究しようとしている。	定期考査 ワークシート	レポート課題 定期考査 ワークシート	レポート課題 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	世界秩序の変容と日本	・石油危機 ・アジア諸地域の経済発展 ・市場開放と経済の自由化 ・情報技術革命とグローバリゼーション ・冷戦の終結とソ連の崩壊 ・現代の東アジア ・東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化 ・地域統合の拡大と変容 ・地域紛争と国際社会 ・現代と私たち	a:1970 年代に世界経済の転換がおこった背景、金ドル本位制の停止が世界経済にあたえた影響、石油危機が発生した背景と世界経済にあたえた影響をアメリカの弱体化について理解している。 エネルギー問題について、原子力発電の今後のあり方や自然エネルギーの活用について理解し、どのように対応していけばよいかを理解している。日本における人口減少の要因、今後の対応について理解している。 b:地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察している。 21 世紀に入ってからの国際体制や革命や新自由主義による影響や懸念される点を考察している。 C：経済、国際情勢、民族意識の再高揚など現代世界の状況をあらゆる面から追究し、これからの日本のあり方についてどうあるべきかを考え、取り組もうとしている。近隣諸国との関係について、防衛強化の面・平和と安全の面といった多面的・多角的視点からよりよいあり方を追究しようとしている。	定期考査 ワークシート	レポート課題 定期考査 ワークシート	レポート課題 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度